

『新狛江市史 考古編』目次（案）

- ・ A 4判、500 頁前後を予定。
- ・ 基本的には、各遺跡で見つかっている遺構・遺物の実測図・写真等で構成し、概要を解説する。

第1章 狛江市の遺跡概観 (16頁)

1. 狛江の地形環境と遺跡の広がり
2. 狛江市の遺跡調査・研究史

第2章 旧石器時代の遺跡 (6頁)

1. 狛江の旧石器時代の遺跡概要
2. 各遺跡の概要
 - (1) 弁財天池遺跡・狛江駅北遺跡
 - (2) その他の遺跡と遺物

第3章 縄文時代の遺跡 (90頁)

1. 狛江の縄文時代の遺跡概観
2. 各遺跡の概要

第4章 弥生時代の遺跡 (30頁)

1. 狛江の弥生時代の遺跡概観
2. 各遺跡の概要

第5章 古墳時代から奈良・平安時代の遺跡 (280頁)

1. 古墳時代から奈良・平安時代の遺跡概観
 - (1) 古墳時代の集落遺跡と古墳の分布
 - (2) 奈良・平安時代の遺跡概観
2. 各遺跡の概要
 - (1) 和泉台北部の遺跡
 - (2) 和泉台南部の遺跡
 - (3) 岩戸台の遺跡

第6章 中世以降の遺跡 (60頁)

1. 狛江の中世の遺跡概観
2. 各遺跡の概要
 - (1) 旧野川・旧入間川沿いの遺跡
 - (2) 多摩川河岸段丘沿いの遺跡
 - (3) 泉龍寺・弁財天池周辺の遺跡
 - (4) 玉泉寺周辺の遺跡

第7章 近世以降の遺跡 (16頁)

1. 狛江の近世以降の遺跡概観
2. 各遺跡の概観